



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月25日

上場会社名 株式会社 小糸製作所

上場取引所 東

コード番号 7276

URL <https://www.koito.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三原 弘志

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 小長谷 秀治

TEL (03) 3443-7111

四半期報告書提出予定日 2019年8月1日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期 第1四半期	197,048	2.7	19,546	△ 9.9	20,142	△ 14.2	13,959	△ 11.3
2019年3月期 第1四半期	191,860	△ 12.5	21,704	△ 6.8	23,462	△ 4.2	15,730	7.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 9,325百万円 (△40.1%) 2019年3月期第1四半期 15,564百万円 (△21.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期 第1四半期	86	85	86	82
2019年3月期 第1四半期	97	87	97	83

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期 第1四半期	726,542		495,111		63.4		2,867 34	
2019年3月期	738,175		503,564		62.5		2,870 24	

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 460,871百万円 2019年3月期 461,336百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40 00	—	52 00	92 00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注2) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 (累計)	397,000	1.1	42,000	△ 9.7	43,000	△ 12.0	29,000	△ 12.5	180	43
通 期	825,000	△ 0.2	92,000	△ 9.4	94,000	△ 10.9	63,000	△ 13.6	391	96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期1Q	160,789,436株	2019年3月期	160,789,436株
2020年3月期1Q	58,220株	2019年3月期	58,220株
2020年3月期1Q	160,731,216株	2019年3月期1Q	160,731,329株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

(参考) 2020年3月期の個別業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	178,000	3.9	15,000 △	21.5	27,000 △	12.4	21,500 △	7.7	133	76
通 期	362,000 △	0.6	31,000 △	19.2	51,000 △	10.0	39,000 △	11.6	242	64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、堅調な個人消費などにより、緩やかな回復基調で推移いたしました。世界においては、米中貿易摩擦の激化などに伴う中国の景気減速に加え、欧州の政治的な混乱、地政学的リスク等もあり、総じて世界の経済成長は鈍化いたしました。

自動車産業におきましては、国内は、登録車や軽自動車販売が好調に推移、生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。海外では、中国・欧州・北米・インドなどの減産により、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ減少いたしました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は、主力の自動車照明関連事業において新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展等により、前年同期比2.7%増の1,970億円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

#### 〔日本〕

自動車生産台数の増加に加え、新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展により、売上高は前年同期比7.4%増の901億円となりました。

#### 〔北米〕

自動車生産台数が減少するなか、新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展により、売上高は前年同期比ほぼ横這いの477億円となりました。

#### 〔中国〕

自動車生産台数が減少したものの、新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展により、売上高は前年同期比2.1%増の227億円となりました。

#### 〔アジア〕

自動車生産台数の減少に加え、タイやインドにおける受注車種の新車効果の一巡等により、売上高は前年同期比7.7%減の248億円となりました。

#### 〔欧州〕

自動車生産台数の減少に加え、受注車種の新車効果の一巡や生産終了等もあり、売上高は前年同期比3.9%減の101億円となりました。

#### 〔その他〕

2018年5月よりブラジル子会社にて生産を開始、売上高は14億円となりました。

利益につきましては、国内外における改善合理化を推進したものの、研究開発の強化や生産能力増強に伴う償却費負担の増等により、営業利益は前年同期比9.9%減の195億円、経常利益は前年同期比14.2%減の201億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比11.3%減の139億円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ー 1. 資産、負債、純資産に関する分析

当第1四半期末の資産の残高は、受取手形及び売掛金が減少したことに加え、K Iホールディングス株式会社の株式公開買付けの決済により現金及び預金が減少したこと等により、前期末に比べ116億円減少の7,265億円となりました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金や借入金が増加したこと等により、前期末に比べ31億円減少の2,314億円となりました。

純資産の残高は、K Iホールディングス株式会社の株式公開買付けにより非支配株主持分が減少したこと等から、前期末に比べ84億円減少の4,951億円となりました。

#### ー 2. キャッシュ・フローに関する分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益199億円、減価償却費75億円を主体に405億円となり、法人税等を支払った結果、344億円の資金を確保いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資141億円等を実施した結果、122億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、K Iホールディングス株式会社の株式公開買付けによる子会社株式取得79億円、配当金等の支払い91億円等を実施した結果、192億円の支出となりました。

以上により、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ22億円増加の1,002億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は、世界の自動車生産台数が横這いのなか、新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展が見込まれるものの、為替換算の影響等により、前期比若干減収の予想であります。

利益につきましては、為替換算の影響に加え、研究開発の強化、生産能力増強に伴う償却費負担の増等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の各利益において減益の見通しであります。

なお、2019年4月23日の決算短信にて公表いたしました2020年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想(連結・個別)は修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	287,803	284,345
受取手形及び売掛金	118,116	100,295
電子記録債権	13,355	13,217
たな卸資産	66,632	65,138
その他	28,179	32,239
貸倒引当金	△517	△529
流動資産合計	513,569	494,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,599	45,153
機械装置及び運搬具（純額）	60,475	59,947
工具、器具及び備品（純額）	15,545	15,554
土地	16,430	16,285
建設仮勘定	20,718	27,165
有形固定資産合計	158,769	164,105
無形固定資産	3,183	3,191
投資その他の資産		
投資有価証券	43,963	46,100
破産更生債権等	60	60
繰延税金資産	13,621	13,616
退職給付に係る資産	2,401	2,410
その他	2,897	2,639
貸倒引当金	△291	△288
投資その他の資産合計	62,652	64,538
固定資産合計	224,605	231,835
資産合計	738,175	726,542

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	93,816	88,441
電子記録債務	12,079	12,559
短期借入金	23,507	23,888
未払費用	24,222	26,022
未払法人税等	5,691	3,486
賞与引当金	5,455	8,968
製品保証引当金	2,584	2,584
独禁法関連損失引当金	83	-
その他	15,826	17,601
流動負債合計	183,265	183,552
固定負債		
長期借入金	8,975	5,765
繰延税金負債	6,529	6,697
役員退職慰労引当金	478	495
製品保証引当金	5,437	5,437
環境対策引当金	206	206
退職給付に係る負債	27,977	27,619
その他	1,741	1,658
固定負債合計	51,345	47,878
負債合計	234,611	231,430
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,270	14,270
資本剰余金	16,759	15,624
利益剰余金	407,725	413,326
自己株式	△55	△55
株主資本合計	438,700	443,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,857	19,346
為替換算調整勘定	3,473	△781
退職給付に係る調整累計額	△694	△861
その他の包括利益累計額合計	22,636	17,704
新株予約権	245	245
非支配株主持分	41,981	33,994
純資産合計	503,564	495,111
負債純資産合計	738,175	726,542

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	191,860	197,048
売上原価	157,605	164,421
売上総利益	34,254	32,626
販売費及び一般管理費	12,549	13,080
営業利益	21,704	19,546
営業外収益		
受取利息	360	386
受取配当金	613	591
持分法による投資利益	△1	—
為替差益	523	—
その他	492	496
営業外収益合計	1,988	1,474
営業外費用		
支払利息	191	235
持分法による投資損失	—	2
為替差損	—	453
その他	39	187
営業外費用合計	231	879
経常利益	23,462	20,142
特別利益		
固定資産売却益	4	5
特別利益合計	4	5
特別損失		
固定資産除売却損	125	139
投資有価証券評価損	—	14
環境対策引当金繰入額	332	—
特別損失合計	457	154
税金等調整前四半期純利益	23,009	19,993
法人税、住民税及び事業税	5,444	4,608
法人税等調整額	351	419
法人税等合計	5,795	5,027
四半期純利益	17,213	14,965
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,730	13,959
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,483	1,006

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111	△696
為替換算調整勘定	△1,633	△4,783
退職給付に係る調整額	△127	△160
その他の包括利益合計	△1,649	△5,639
四半期包括利益	15,564	9,325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,516	9,027
非支配株主に係る四半期包括利益	1,047	298

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	23,009	19,993
減価償却費	6,966	7,580
株式報酬費用	48	—
持分法による投資損益(△は益)	1	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	49	19
退職給付に係る資産・負債の増減額(△は減少)	△206	△495
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,353	3,511
受取利息及び受取配当金	△974	△978
支払利息	191	235
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	—	14
有形固定資産除売却損益(△は益)	120	133
環境対策引当金繰入額	332	—
売上債権の増減額(△は増加)	16,780	16,441
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,106	130
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△930	△4,716
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,420	△3,497
未払費用の増減額(△は減少)	2,474	2,197
その他	486	△39
小計	47,175	40,533
利息及び配当金の受取額	974	978
利息の支払額	△191	△235
法人税等の支払額	△17,027	△6,798
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,931	34,477
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△41,543	△40,937
定期預金の払戻による収入	49,409	45,703
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△5	△118
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	—	0
関係会社株式の取得による支出	—	△2,668
有形固定資産の取得による支出	△14,100	△14,121
有形固定資産の売却・除却による収支(△は支出)	△77	35
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	1	2
その他	△279	△132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,596	△12,237
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△276	△303
長期借入れによる収入	339	159
長期借入金の返済による支出	△1,364	△2,008
自己株式の取得による支出	△0	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△7,950
親会社による配当金の支払額	△8,895	△7,724
非支配株主への配当金の支払額	△795	△1,440
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,993	△19,269
現金及び現金同等物に係る換算差額	180	△745
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,522	2,226
現金及び現金同等物の期首残高	41,050	97,993
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,572	100,219

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年4月23日開催の取締役会決議に基づき、2019年6月19日付でK Iホールディングス株式会社の普通株式等を株式公開買付けにより取得いたしました。これにより、当第1四半期連結会計期間において資本剰余金が1,134百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が15,624百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注) 3
売上高									
外部顧客への売上高	83,939	48,055	22,332	26,895	10,537	99	191,860	—	191,860
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,197	1	1,138	1,581	45	2	9,967	(9,967)	—
計	91,136	48,057	23,471	28,476	10,583	101	201,827	(9,967)	191,860
セグメント利益又は損失 (△)	12,199	3,729	3,479	2,919	1,129	△430	23,026	(1,321)	21,704

(注) 1. セグメント利益又は損失(営業利益)の調整額△1,321百万円には、セグメント間取引消去224百万円及び配賦不能営業費用△1,546百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

- (1) 北米 …米国、メキシコ
- (2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド、マレーシア
- (3) 欧州 …英国、チェコ
- (4) その他…ブラジル

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高									
外部顧客への売上高	90,127	47,711	22,794	24,831	10,124	1,459	197,048	—	197,048
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,994	16	2,765	1,286	21	4	10,089	(10,089)	—
計	96,121	47,727	25,559	26,117	10,146	1,464	207,137	(10,089)	197,048
セグメント利益又は損失 (△)	10,731	3,771	3,051	2,723	632	△45	20,865	(1,318)	19,546

(注) 1. セグメント利益又は損失(営業利益)の調整額△1,318百万円には、セグメント間取引消去231百万円及び配賦不能営業費用△1,550百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1) 北米 …米国、メキシコ

(2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド、マレーシア

(3) 欧州 …英国、チェコ

(4) その他…ブラジル

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。